

# 口周囲の糜爛を伴う重度皮膚炎が 歯科処置により改善した犬の1例



小田嶋 希佳(おだしま のぞか)<sup>(1)</sup> (1) プリモ動物病院相模原中央

白畑 杜(しらはた そう)<sup>(1)</sup> 三浦 貴裕(みうら たかひろ)<sup>(2)</sup> 草場 宏之(くさば ひろゆき)<sup>(3)</sup> 佐藤 陽子(さとう ようこ)<sup>(4)</sup> 小宮山 祥太(こみやま しょうた)<sup>(5)</sup>  
山崎 真実(やまさき まみ)<sup>(4)</sup> 吉村 忍(よしみら しのぶ)<sup>(1)</sup> 高田 麻由(たかた まゆ)<sup>(2)</sup> 永田 あかね(ながた あかね)<sup>(4)</sup> 和田 藍果(わだ あいか)<sup>(5)</sup>  
鈴木 義之(すずき よしゆき)<sup>(1)</sup>  
(1) プリモ動物病院相模原中央 (2) 相模大野プリモ動物病院 (3) 横浜戸塚プリモ動物病院 (4) 厚木プリモ動物病院23時 (5) 相模原プリモ動物病院

## はじめに

歯周病の発生頻度は一般的に2歳以上の犬や猫の80%以上といわれており<sup>2)</sup>、一方で動物保険会社が実施した調査によると、犬の保険金請求理由では1位外耳炎、2位皮膚炎、3位膿皮症と上位を皮膚疾患が占めている<sup>5)</sup>。このように皮膚疾患と歯科疾患は発生率が高いと考えられるものの、これらの関連性を示した報告は少ない。今回、口周囲の糜爛を伴う重度皮膚炎を罹患していたミニチュア・ダックスフントに対して歯科処置を実施した所、良好な結果が得られたためこの1例を報告する。

## プロフィール

ミニチュア・ダックスフント

12歳齢 去勢雄 5.2kg BCS3/5

## 主訴

口吻・下顎先端付近皮膚の広範囲糜爛

## ヒストリー

既往歴なし 6種混合ワクチン済

屋内生活

## 治療と経過

1年前から再燃を繰り返す口周囲の糜爛、痂皮。

歯石の付着が重度であり、歯肉退縮も著しい。臨床症状からは多形紅斑、ステーブンス・ジョンソン症候群が第一に疑われた。発症要因として歯周病も考慮されるため、歯科処置と皮膚生検、細菌培養・感受性試験を同時実施。



## 歯科処置

歯石除去後109・209(動揺歯)、104・204(鼻瘻管形成)を抜歯。  
鼻瘻管に対してはフラップを形成。鼻出血は軽度で覚醒も良好。



3か月後



## その他検査結果

○血液検査

Glob 4.6g / dl以外の異常なし。

処置前CRPは1.95 mg/dl、処置後1週間後0.75 mg/dl

○細菌培養・感受性検査

MRSAを検出。AMPC、MINO、DOXY、CP、FOMで感受性あり。

皮膚生検の結果は慢性活動性の炎症性病変

→免疫介在性疾患を支持する結果とはならなかった。

歯科処置後約半年間感受性のある  
ドキシサイクリンの服用を継続。

現在は休薬しているが、再燃がないまま  
5か月間経過は良好。

## 考察

●本症齢ではご家族が積極的な治療を行うことを望んでおり、歯科処置、皮膚生検、細菌培養・感受性試験を同時に行った。

→感受性のある抗生剤を事前に投与することができれば異なる結果になった可能性もある。

→皮膚生検の結果から診断がつかなかったため、免疫介在性の皮膚疾患が存在する可能性も否定できない。

●過去1年間に抗生剤の投与、休薬による再燃が生じていたが、現在抗生剤の休薬後も5か月間再燃がない。

→皮膚病の改善に歯科処置が大きく貢献したと考えられる。

今後重度の歯科疾患に起因する鼻腔瘻、外歯瘻などの皮膚病だけでなく、歯周病が認められ、口周囲やその他舐める可能性のある箇所に関する皮膚病についても歯科処置の必要性を検討していく。

## 参考文献

- 1) Aiko A, Akushi A, Tafaj A, et al. Oral mucosa involvement in rheumatoid arthritis, systemic lupus erythematosus and systemic sclerosis. Int J Dent. 60 (5): 353 - 358. 2010.
- 2) 網本昭輝. 私の歯科診療 小動物の口腔内疾患 - その診断と治療 -. 株式会社山水書房. p1 - 5. 2010.
- 3) 渡邊一弘. イラストを読む! 犬と猫の臨床歯科. 株式会社インターズー. p42 - 59. 2015.
- 4) 十川裕子, 竹内康雄, 片桐さやかほか. 尋常性天疱瘡に歯周病を併発した患者に歯周基本治療を行い良好な結果を得られた一症例. 日歯誌. 56 (4): 451 - 456. 2014.
- 5) アニコム ホールディングス株式会社. 犬と猫の保険金請求理由 結果. <http://www.anicom.co.jp/release/121119.html>. 2012. 11. 19.